

タイトル	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
フラッグダンス（学習発表会用）	高	体育 Ⅱグループ （体育）	堂園博貴

（ねらい）

○フラッグを持ちながら手本に合わせて身体を動かすことができる。

（内容）

- ①両手で旗を上下左右に動かす。
- ②笛の合図で止める。
- ③部分的に振り付けを覚える。
- ④曲を流してダンスの形にする。 生徒の活動の様子で内容を繰り返し練習する。

（良かった点、改善点）

- ①動きの難しい生徒にはフラッグを持たせるだけでも少しの動きで表現できる。
- ②具体物（フラッグ）があるとダンスをするという見通しが持ちやすい。
- ③笛を使用すると「止める」「動きの始まり」など動きに抑揚をつけやすい。
- ④自分の立ち位置がわかりやすいように名前カードを準備する。
- ⑤フラッグの色は指示がしやすく、わかりやすい「赤」「青」の2色とした。

（工夫）

○動きが少ない、表現するのに難しい場合はフラッグ、ポンポンなどの手具を使うと動きがあるように見せることができる。

○簡単な動作（上、下、左、右）から複雑な動作（交互に前にフラッグを出す）まで音楽のサビのタイミングや笛の吹き方で誘導して取り組んだ。

フラッグ

